倉商生が地域に誇りを感じ、地域を大事にしたいと思う気持ちがより強くなった 倉敷美観地区で倉商生と未来を繋ぐ会

活動の目的

商業高校で学ぶ生徒ならではの観光ガイドという活動を通して、倉商生が地元の観光資源である倉敷美観地区を学習の場として、過去と未来の繋がりの中で地域の恩恵を受けながら自分達が存在し、地域の方々に期待されていることを実感し、将来地域に貢献できる人材に成長することを目的としている。また、そのような倉商生を見て、未来へのバトンを繋ぐことができる若者に期待や希望が持てると感じる人が多くいるような地域社会の創造を目指している。



活動の内容及び経過

10~11月 4度のガイド実践

12月 映像作家 服部勝孝氏をお迎えし、映像制作の レクチャー&ワークショップ 倉敷美観地区に て美観地区 PR 動画の制作

2月 「マチアルキ」(東京書籍開発の情報発信ツール) に映像を登録

活動の成果・効果

年度当初に次の4つの仮説を立てた。

生徒は活動通して、①地域を知り、地域や自分に誇りが持てるようになる。②地域からの期待を感じ、地域を活性化する人材となり得ることを自覚する。③グローバルな視点を養い、おもてなしの仕方や英語力も含めたコミュニケーションスキルが向上する。④学習内容を自分の言葉で観光客に伝えられる観光ガイドを目指して、主体的な学習態度が養える。

年度末アンケートの結果を基にすると、「自分に誇りが持てるようになる。」についてのみ真偽不明で、その他については6割以上の割合で真であると言えた。

アンケート項目	関連 する 説番号	年度末生徒アンケートから (「そう思う」「どちらかといえばそう 思う」と回答した生徒の割合)	
		令和元年度	平成28年度~ 4年間の平均値
地域産業や地域について学習するのに役立った。	1	87.5%	90.0%
コミュニケーションスキルを向上 させることができた。	3	83.3%	88.9%
学習したことを自分の言葉で観光客 に伝えられるのに役立った。	3	75.0%	84.7%
地域に誇りが持てるようになった。	1	70.8%	82.9%
自分が地域に役立つ人材へと成長 していっているのを感じた。	2	66.7%	77.0%
学習意欲が高まった。	4	66.7%	70.5%
地域からの期待を感じた。	2	62.5%	72.1%
自分に誇りが持てるようになった。	1	50.0%	66.0%

ある生徒が、「ガイドを通して様々な出会があり、私たちと同じ高校生から年配の方まで幅広い年代の方と交流したことで、プラスにできることが多かったのもよかったと思います。」とレポートに書いていた。殆どの生徒は活動に積極的に取り組み、ガイド実践を目標に地域の方々から地域について教わり、準備をしてガイド実践に臨んだ。悔しい思いをしたりうまくいかなかったりしたこともあったようだが、地域の方々や観光客との関わり合いの中で、また、生徒同士で支え合いながら4回のガイド実践を通して少しずつ成長していったと考える。

今後の課題と問題点

次の3点が特に不十分であると考え、令和2年度の課題と する。

- ●ARアプリ・コンテンツが十分に活用できておらず、常時情報が「発信」できていない。
- ②アンケート結果にあるように、1年間を通して活動に興味関心が持てなかった生徒が数名おり、彼らのモチベーション向上と維持が十分にできなかった。
- 33教科横断型の指導の強化を図る。
- ●代表者:川井敏之●所在地:倉敷市白楽町
- ●TEL: 086-422-5577 ●E-MAIL: kurasho@pref.okayama.jp
- URL: http://www.kurasho.okayama-c.ed.jp/
- ●設立年:2016年
- ●メンバー数: 倉敷商業高等学校生28名、校内主要担当教員4名、学校外協力団体数4